

一 きもの、おぼえ書き

「ころもがえ」のしきたり 10

場に応じた「装い」 11

留袖と色留袖 12

振袖 14

喪服と準喪服 15

訪問着と付下げ 18

江戸小紋 20

御召 22

紬のきもの 23

紹と紗のきもの 26

麻のきもの 27

浴衣 30

袋帯 32

なごや帯 36

綾の帯 38

コート 42

袋帯 40



三 茶席のきもの

お稽古をはじめるときは 86

お茶会のきもの TPO 88

炉の季節のきもの

風炉の季節のきもの

お茶会別のきもの

茶人の正装「紋付き色無地」 94

◎紋付き色無地と袋帯のとりあわせ

◎色無地の着こなし

風炉の季節の夏ごろも 108

◎白衣の色無地と帯、小物のとりあわせ

◎盛夏の色無地と帯、小物のとりあわせ

男性の茶装 124

124

四 きもの姿の美しさ

みえないところの美しさ

裾廻し（へ掛け）

立居振舞 142

脱ぎ着のしぐさ

袖口 138

袖の振 140

美しいきもの姿のために

おはしより 146

きものと香り 145

衣裳しらべ 144

毎年の衣裳計画 150

お正月の前には 152

結婚の支度 154

日々の衣裳しらべ 157

二 装いと着こなし

紋付きの着こなし

第一礼装 60

紋のしきたり 62

準礼装 盛装 64

◎準礼装として紋が付けられるきものと帯

夏の礼装 盛装 70

家紋について 74

日本の家紋 76

雨の日の装い 78

78

半衿と色衿 44
伊達衿 46
帯揚げ 48
帯締め 49

足袋 54
袋物と風呂敷 56

帯締め 48

44

46

48

49

54

56